

独立行政法人農林漁業信用基金は、都市再開発法に基づく入居ビルの建替えに伴い、令和3年1月12日より、事務所を下記の場所に一時仮移転することとなりましたので、お知らせします。

新所在地

〒105-6228
東京都港区愛宕二丁目5番1号
愛宕グリーンヒルズMORIタワー28階

アクセス

都営地下鉄三田線「御成門駅」徒歩約5分
東京メトロ日比谷線「神谷町駅」徒歩約6分
JR「新橋駅」徒歩約17分



新電話番号

企画調整室企画推進課	03-3434-7813
企画調整室システム管理課	03-3434-7814
総務経理部総務課	03-3434-7815
総務経理部人事課	03-3434-7816
総務経理部経理課	03-3434-7817
監理室	03-3434-7819
農業調整室農業業務推進課	03-3434-7820
農業信用保険業務部業務第一課	03-3434-7821
農業信用保険業務部業務第二課	03-3434-7822
農業信用保険管理部管理第一課	03-3434-7823
農業信用保険管理部管理第二課	03-3434-7824
林業調整室林業業務推進課	03-3434-7825
林業信用保証業務部業務課	03-3434-7826
林業信用保証管理部管理課	03-3434-7828
漁業調整室漁業業務推進課	03-3434-7829
漁業調整室管理課	03-3434-7830
漁業信用保険部業務課	03-3434-7831
共済部農業共済課	03-3434-7832
共済部漁業共済課	03-3434-7833

当信用基金は、前身の組織の時代から約48年間コープビルで業務を行ってまいりました。
コープビル入居に当たってのいきさつなど当時の思い出を、
当信用基金OBの大畠利和氏よりご寄稿いただきましたので、ご紹介いたします。

コープビル移転の頃の思い出

私は、終戦後間もなくの団塊の世代で、卒業した学校はすべて新しい校舎でした。

卒業後の就職先も、信用基金の農業部門の前身である旧農業信用保険協会で、これも新しく設立された法人でした。発足の昭和41年8月1日と同日に職員に採用され、その後組織の変遷を経て、約45年間在籍しました。

さて、この度信用基金入居のコープビルが建て替えられるとのお話をお聞きし、竣工したばかりのコープビルに事務所を移転した頃を思い出しています。その後38年余の永きにわたり過ごしたコープビルでの日々が懐かしく、記録を頼りながら振り返ってみました。

まず旧農業信用保険協会発足当時の事務所は大手町の農協ビルの一室を間借りして、常勤役職員29名でスタートしました。

業務量の増大が予想されるなか、保険料計算事務の電算化計画もあって事務所の拡張を必要としていました。しかし、農協ビル内での拡張は、農協ビルのオーナー団体自体も機構が拡大し他のビルを賃借している状態のため、極めて困難な状態にありました。このため、これらの団体の間で新ビル(仮称第2農協ビル)建設計画が進められることとなり、保険協会もこの建設に関わることとし、関係団体の了承を取り、さらに主務省の了承を得たうえで新ビル建設に参加することとなりました。新ビルは後にコープビルと命名され、11団体の共同所有形態として、東京都の所有地(その後買い取り)であった千代田区内神田に建築することとなりました。昭和48年2月28日竣工、翌3月6日に移転しました。借家住まいから晴れてオーナーとなったのです。

駆け出しの私は、直接携わることは少なかったのですが、その間予算や金の動き、人の動きが分かる経理課、総務課に在籍しました。

発足からの約10年の間、組織と業務の多忙な

草創期にあって、直接業務に関わる関係法令の改正、定款、業務方法書、保険約款の変更等は勿論ですが、昭和46年には保険料計算事務の電算化、47年に健保組合設立加入、沖縄県農業信用基金協会の設立、保険協会加入、48年に新事務所取得移転、49年に農林年金加入、50年に中央開拓融資保証協会と統合、職員宿舎完成等々多様な出来事が毎年のように続き、職場は非常に多忙な中にも活気に溢れていたことを昨日のように思い出します。

その後、昭和62年に農林水産金融の信用補完機関が統合され農林漁業信用基金となって間もなく、課長として再び総務課勤務となり、林業部門の後楽事務所、漁業部門の湯島事務所と書類の決裁を頂きに走り回っていましたが、平成16年にはコープビルに事務所も統合され、走り回ることもなくなりました。農災部門も含め一つ屋根?の下に一つの組織として業務が遂行されていることは、コープビルでの事務所取得にご尽力された諸先輩、ご理解ご指導頂いた主務省はじめ関係諸団体のお陰であり、そんな組織に永年勤められた誇りと感謝の念一入です。

後楽事務所には、帰宅の途中、下車して残業の邪魔をし、飯田橋界隈の居酒屋で労組メンバー等と議論し、湯島事務所では、誰か辞令が出るたびに内部で飲み会があり、「総務課長も来い」とお誘いを受け湯島や御徒町へ繰り出すのが常でありました。

そんなつながりは、場所が神田に変わっても、退職するまで続いたことは言うまでもありません。

さて、時代は令和に変わり、去年はコロナ禍で今までに経験したことのない日々が続きましたが、新しい年が平穏でありますよう、また皆様方のご健勝ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

農林漁業信用基金OB 大畠利和